



コンクリートうちの
手伝いをしたこと

尾ヶ石東部小学校 五年（現六年）
永富 京太郎 きやうたろう

日曜日の朝、ぼくがテレビを見ていたら、じいちゃんが、「いつしよに仕事に行くか？」と聞きました。ぼくは、「うん。」と言った後、家を出てトラックに乗りました。トラックの中で「飯食ったか？」と聞かれたので、「ううん、食べてない。」と言ったので、と中のコンビニに寄って、メロンパンとタマゴサンドを買いました。その日は暑かったので（あちいーなあ）と思いました。しばらくして、仕事現場に着きました。お父さんは別の車で現場に来ていました。着いたところに輪車やセメントがあったので、（今日はコンクリートうちをするんだな）と思いました。それから、近くにすわって、お父さんと釣りの話をしていました。そし

家族や身近な人との関係を見つめ直し、
人権や差別について話し合う機会を持ちましょう。

て、じいちゃんがお父さんに、「セメントをはこべ。」

と言ったのでお父さんは「輪車でセメントを運びました。お父さん達は輪車にたくさんセメントを入れてコンクリートをうつところまで、運ぶのを見て、（大変そうだな）と思いました。ぼくはすることがなく、仕事を見ながらすわっていました。しばらくして、生コンを持ってきた人に言われて、手伝いを始めることにしました。ぼくはセメントを輪車に入れる作業を手伝うことにしました。セメントが入っているところからセメントをくわの先が丸くなったような道具を使ってかき出して、輪車に入れる作業でした。この作業が楽しくて、ぼくが輪車にセメントを満タンに入れてしまったので、重くないかなあと思っていたけど、お父さんは、「よゆう、よゆう。」と言っていました。でも、あせをたぐさんかいてとてもきつそうに見えました。屋が近づいてきたときにじいちゃんが、

「弁当、買ってきて。」

と言ったので一緒に仕事をしている人の分も合わせて近くのスーパーに買いに行きました。そして仕事場でみんなでいつしよに食べました。午後になつて、二台目の生コン車が来て、仕事をしました。ぼくは、お父さんとおじいちゃんについて、ブロックの上ですわってコンクリを打つところを見ていました。ぼくは、午後からは何もせずに見ていましたが、仕事をしているおじいちゃんを見て（六十才でよくそんな重たい物をもてるなあ）と思いました。三時くらいまで仕事を見ていましたが、ぼくは今までじりや土だったところがだんだんコンクリートになっていくのを見ることがとても楽しかったです。三時からいになつてみんなが輪車を洗っているのを見て、（もう帰るんだ）と思いました。その後、じいちゃんといつしよに家に帰りました。

平成二十二年度
阿蘇市人権作文集
「かけはし」より

医療法人社団 坂梨会 阿蘇温泉病院
「緩和ケア病棟3周年記念講演会」開催のお知らせ

講師：ひまわり在宅クリニック 院長 後藤慶次 先生
演題：在宅緩和ケアについてともに考えよう
日時：平成23年9月16日(金) 18:30～
場所：阿蘇温泉病院 3階会議室



参加を希望される方は
こちらまでお電話ください。
0967-32-0881(代)
阿蘇温泉病院 担当：企画広報課
※参加費は無料です。